

2010年10月「基礎教学試験」の教材

基礎教学試験について

新たなアメリカSGI教学プログラムの一環として、本年10月から毎年、「基礎教学試験」を実施することになりました。これは、2005年度より例年実施してきた「教学レビュー」と同様に各地区単位に実施されます。主な相違点は、教学レビューが自己採点であったのに対し、「基礎教学試験」では解答用紙が回収、採点されます。参加者は、電子読解式の解答用紙に解答を記入し、試験担当者に提出したあと、ディスカッションに参加します。

「基礎教学試験」の教材は以下のとおりです。

第1部 基礎仏法用語

1. 信行学
2. 十界
3. 宿命転換
4. 三障四魔
5. 南無妙法蓮華経
6. 御本尊
7. 功德

第2部 日蓮大聖人の御生涯

第3部 勝利の経典「御書」に学ぶ

1. 佐渡御書（上） 「最極の生命を仏法のために使う」
2. 佐渡御書（中） 「生命の鍛錬こそ最高の功德」
3. 兄弟抄（下） 「『心こそ大切』の勝利の人生を」

第4部 創価スピリット 日顕宗の邪義を破す

基礎教学試験に関するQ & A

Q：受験できる人は？

A：すべてのアメリカSGIメンバーが受験できます。今年の試験に合格した人は、2011年4月に実施される「一般教学試験」を受験することができます。不合格の方は、2011年10月の基礎教学試験を受けられます。

Q：受験の準備として学習すべき教材は？

A：この試験のための教材は、すべて本紙に収録されています。英文は、2010 *Introductory Exam Study Guide* を会館ブックストアでお求めください（\$2.00）。また、ウェブサイト sgi-usa.org にも掲載されています。

Q：試験問題の様式は？

A：全部で20問、すべて正誤選択式です。

Q：試験は他の言語でも受験可能ですか？

A：はい、受験できます。詳しくは各言語グループの担当者にお問い合わせください。

【第1部 基礎仏法用語】

1. 信行学

諸法実相抄 信心を根本に行学の実践を

行学の二道をはげみ候べし、行学たへなば仏法はあるべからず、我もいたし人をも教化候へ、行学は信心よりをこるべく候、力あらば一文一句なりともかたらせ給うべし（御書 1361 鈔）

本抄は、文永10年（1273年）5月17日、日蓮大聖人が52歳の時に佐渡の一谷で著され、最蓮房日浄に送られた御抄です。

この御文は、「信行学」という仏法実践の根本について述べられている本抄の結論部分にあたる箇所です。

まず、御本尊への強盛な信心を根幹として、「行学の二道」に励んでいくことが肝要であると仰せです。「行」とは自行・化他にわたって南無妙法蓮華經の題目を唱えていくことであり、「学」とは、大聖人の御書を根本に仏法の法理を学んでいくことです。

「行学たへなば仏法はあるべからず」と仰せのように、いかに外形が立派な寺院などの建物があつたとしても、行学の実践がないところには、もはや仏法は存在していないのです。

また「我もいたし人をも教化候へ」と仰せの通り、行の実践は自行だけでは